

令和6年度 (小松島支援) 学校の研究概要 ～令和7年1月末現在～

運営委員氏名 (保科 泉)

| | |
|----------------------------|--|
| 研究テーマ | 『児童生徒が「分かる」「できる」授業づくり』 ～「目指す姿」を実現するための手立ての工夫を通して～(1年研究) ※「目指す姿」とは、各教科の指導内容に対しての到達目標として、個別に評価するための基準となるもの |
| 研究目標 | 各教科等の目標・内容に基づく授業実践をとおして、児童生徒の「目指す姿」を実現するための手立ての工夫を検証する。 |
| 研究内容・方法 研究計画等 | 1 授業づくりに関する研修会の実施 2 対象児童生徒を一人決め、二学期の個別の指導計画の「目指す姿」を設定する。 3 目指す姿と手立てに焦点を当て、指導略案を作成(高等部は個別の指導計画の様式が異なることから【本時の授業における目指す姿】を設定し、指導略案の作成) 4 各学級、1授業を行い、動画で撮影をする。 5 グループ毎に動画を見ながら事後検討会を行う。 6 事後検討会后、学級毎に成果と課題をまとめる。 7 学部毎に、グループで話し合った発表を行う。(動画を用いる。) 8 全体発表会で、学部で話し合った内容を成果と課題としてまとめ、共有する。(動画で流しながら、発表する。) |
| 研究の概要 ・研究の重点 ・成果と課題等 | <研究の重点> (1) 昨年度整備見直しを行った年間指導計画並びに個別の指導計画に基づく授業づくりに関する研修会を実施(R6. 5. 2)(R6. 6. 13) ・多くの教員から、授業づくりに生かしているという回答を得た。 (2) 児童生徒の目指す姿と手立てに焦点を当てた指導略案の作成を行った。 ※児童生徒の実態、手立て、目指す姿の明記された指導略案を作成し、焦点化。 ※高等部に関しては、個別の指導計画の様式が異なることから【本時の授業における目指す姿】を設定し、指導略案を作成 ・略案の様式について、実態と手立てに焦点を当てた様式は書きやすかったという意見が多かった。一方で、単元の目指す姿と、本時の目指す姿の書き方については課題が残った。 (3) 指導略案に基づく授業実践を行い、動画を撮影。 ・録画した動画を視聴しながらの事後検討会は、検討する場面について視覚的な情報共有ができたことにより、深い話し合いとなった。 (4) 小・中・高の各学部内でグループを作り、授業参観・事後検討会を実施。(動画を用いて児童生徒の様子を見ながら実施。) |

| | |
|--|--|
| | <p>※小・中学部は、グループごとに同じ教科での授業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・同じ教科を扱った小・中学部からは、授業づくりにすぐに生かしている、という成果の声が多い。 <p>(5) 児童生徒の「分かった」「できた」につながる授業づくりに生かす。</p> <ul style="list-style-type: none">・困っていた部分が解消された、授業づくりの改善につながる手立ての工夫や情報が得られた等の成果を感じたという意見が多くあった。授業実践・事後検討会後に実際に自分の授業改善に取り組んでいる教員も多く見られている。 <p><成果と課題> (アンケートより)</p> <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none">・複数学級で同じ単元・題材で授業研究したことで、さまざまなアプローチや工夫を共有することができた。また、目標に対しての理解や児童生徒に合った手立ての工夫などが深まっていくように感じた。・複数学級で同じ単元・題材で授業研究したことで、有意義な話し合いができ、またみんなと一緒に授業をつくっていく雰囲気が楽しかった。・学習指導要領に基づいた授業づくりが実施され、どのように授業を展開すれば良いのか模索する中で、研究部主催の様々な研修が参考になった。・各学年で、同じ単元を扱うことによって、同じ単元であっても授業の形態や使用するワークシートが実態に合わせて違い、より一層実態把握をした上で教材づくり、授業づくりをしなくてはならないと感じることができた。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none">・☆本にこだわりすぎていること、一斉授業にこだわりすぎていて、個々の目標や評価が中途半端になってしまった。何を子供たちに身につけさせたいのかが見えない。・指導要領と実態が乖離している生徒をどうするのか。今回の研究以降も指導要領で国語を進めているが難しい。・目標を基に実態にあった目指す姿を考えることに非常に悩んだ。とても難しい。・手立ての工夫、教材教具の情報を得ることはできたが、年間指導計画の時数に沿って進めていくと、改善して再度授業をする場面がない。反省を生かす場面が少ない。・個別の手立ての工夫の大切さは感じたが、学級全員に教材教具を準備する時間がない。 |
|--|--|

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。